

大規模事業 事前評価答申結果一覧表

教育委員会事務局

番号	区分	事業名(市町村名)	事業計画				総合評価		答申結果
			着手年度	完成年度	主な事業内容	総事業費(百万円)	対応方針案	理由	
1	施設 (基本構 想後)	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業(宮古市)	2024 (R6)	2034 (R16)	<p>○建設予定地 宮古商工高等学校商業校舎(敷地面積33,530㎡)及び宮古水産高等学校(敷地面積30,916㎡)の現在地</p> <p>○構造・階数(想定) 校舎(鉄筋コンクリート造4階)延床面積16,770㎡ ※両校及び産業教育施設を一体整備 第一体育館(鉄骨造)[改修:商業校舎]延床面積1,359㎡ 第二体育館(鉄骨造)[改修:商業校舎]延床面積1,092㎡</p> <p>○外構等(想定) グラウンド(商業校舎敷地)11,500㎡ サブグラウンド(宮古水産敷地)20,000㎡</p>	11,800	事業実施	<p>○両校とも開校以来、地域の産業技術の担い手となる人材を育成・輩出してきたところであり、今後も同様の役割を担うことから、安全で安心して学べる教育環境の整備が必要である。</p> <p>○3校舎とも建築後50年以上が経過しており、老朽化が著しく、また、宮古商工高等学校工業校舎及び宮古水産高等学校の現所在地は、浸水想定区域内であり、東日本大震災津波により被害を受けて生徒等の安全確保や授業などに支障を来したことから、早急に安全性を確保する必要がある。</p> <p>○このため、浸水想定区域外の宮古商工高等学校商業校舎敷地内に3校舎を一体的に整備することにより、安全性を確保するとともに、整備面積の削減と総事業費を抑制することが可能であり、合築による事業実施が妥当であると判断したものである。</p> <p>○なお、環境や景観についても、支障となる要因はないものである。</p>	「事業実施」とした岩手県教育委員会事務局の評価は妥当と認められる。

大規模事業 事前評価答申結果一覧表

警察本部

番号	区分	事業名(市町村名)	事業計画				総合評価		答申結果
			着手年度	完成年度	主な事業内容	総事業費(百万円)	対応方針案	理由	
1	施設 (基本設計後)	紫波警察署庁舎等整備事業(紫波町)	2023 (R5)	2030 (R12)	<ul style="list-style-type: none"> ○建設予定地 紫波町桜町字大坪51番2ほか 8,233.79㎡ ○構造・階数 鉄筋コンクリート造4階建 延床面積 3,661.09㎡(庁舎等、車庫棟、付属棟合計) ※紫波警察署、交通機動隊本隊、証拠品センターを一体整備。 ○外構等 交通機動隊訓練コース 1,210.45㎡ 	3,462	事業実施	<p>○紫波警察署は、警察法その他関係法令により「紫波郡内における安全・安心」を確保するために設置しているものである。しかし、施設の老朽・狭隘化が著しいため警察署庁舎に備えるべき標準的な設備が整っておらず治安基盤としての機能維持が困難な状況にある。</p> <p>○交通機動隊は、洪水浸水想定区域内に所在しているため治安基盤としての機能を喪失する危険性があることから、移転整備の必要性に迫られており、「岩手県警察 警察署再編等長期計画」に基づき、一体整備に向けた取組を推進することとしている。</p> <p>○事業の効率性や施設計画の妥当性の観点及び環境や景観への影響の観点からも、支障となる要因は無いことから、事業実施が妥当であると判断した。</p>	「事業実施」とした岩手県警察本部の評価は妥当と認められる。